

政府機関のコンプライアンス

国や地方自治体の政府機関は、電子コミュニケーションデータのアーカイブと保持に関する数々の規制とガイドラインに従う必要があります。これらの規制に準拠することにより、罰金、制裁、およびその他の罰則を防ぎ、電子メールやソーシャルメディアの誤用に関わるリスクを回避できます。

■ 米国連邦政府：

- Presidential and Federal Records Act Amendment of 2014 (大統領記録・連邦記録法 2014 年改正) (HR 1233)
- 5 U.S.C. § 552, As Amended by Public Law No.104-231, 110 Stat.3048 (情報公開法)
- Federal Rules of Civil Procedure (FRCP：連邦民事訴訟規則) 規則 34、規則 26(b)、規則 35
- 連邦情報セキュリティ管理法 (FISMA)
- 44 USC Chapter 35 (連邦情報調整ポリシー)
- NARA October 2010 Bulletin (米国立公文書記録管理局広報 2010 年 10 月版)

■ 米州国および地方政府機関：

- California Public Records Act (カリフォルニア州公記録法) California Government Code (カリフォルニア州政府法典) 第 6250 条～第 6270 条
- Florida 119.01 (フロリダ州法第 119.01 条) および Title XIX Chapter 286 (第 XIX 編第 286 章)
- Louisiana Title 44 Chapter 1 Part 1 (ルイジアナ州法第 44 編第 1 章第 1 部、ルイジアナ州サンシャイン法)
- Massachusetts SPR Bulletin No.1-99 (マサチューセッツ州 SPR 広報第 1～99 号)
- Missouri Public Records (ミズーリ州公記録法) 610.010、610.023、610.024、610.026、Ohio Public Records Act (オハイオ州公記録法、オハイオ州法 149.43)
- Oregon Public Records Law (オレゴン州公記録法)
- Washington Public Records Act (ワシントン州公記録法)
- Wisconsin Public Records Law (ウィスコンシン州公記録法)

政府機関が抱える規制上の問題を解消する Retain の機能

OpenText™ Retain Unified Archiving は、電子メール、ソーシャルメディア、モバイルコミュニケーションのデータを保存するマルチプラットフォーム統合アーカイブです。内蔵の e ディスカバリ機能と公開機能により、オンプレミスでもクラウドでも、コスト削減、簡素化、リスク低減を実現できます。

マルチプラットフォーム統合アーカイブ：電子メール、ソーシャルメディア、モバイルなどのメッセージデータがすべて 1 つの統合データアーカイブに保存されます。これにより、検索、公開、e ディスカバリーを 1 か所で実行できます。

柔軟なアーカイブアクセス：エンドユーザーの電子メールクライアント、Retain Mobile アプリ、ブラウザベースの Web アクセスクライアント、Offline Archive Viewer といったさまざまな場所から Retain アーカイブに直接アクセスして、参照や検索ができます。さらに、アーカイブしたデータをスタンドアロンのポータブルアーカイブビューアにエクスポートすることもできます。

ポリシーベースの統合アーカイブ：Retain では、総合的な設定が可能なポリシーが用意されており、アーカイブする電子メール、モバイル、ソーシャルメディアのデータを定義できます。これらのポリシーにより、メールボックスタイプ、メッセージソース、項目タイプ、メッセージステータス、メッセージ保存期間、添付ファイルに基づいて、アーカイブする対象を定義できます。フォルダーや添付ファイルのタイプを基準にフィルタリングすることも可能です。さらに、すべてのアーカイブデータに保持ポリシーを適用することもできます。



ソーシャルメディアのアーカイブとモニター：Retain Social はデータのアーカイブ、モニタリング、およびインサイト獲得のための機能を備えています。これにより組織は e ディスカバリーを実行し、コンテキストに応じてメッセージを確認できます。また、Facebook、X (旧 Twitter)、LinkedIn、Instagram、Flickr、Pinterest、Google+ のあらゆる投稿と画像の傾向を判断しやすくなります。さらに、YouTube や Vimeo のすべての動画とコメントもアーカイブすることができます。

e ディスカバリ規制検索：権限を持ったユーザー (管理者やレコード管理担当者など) は、ビルトインツールを使用して、e ディスカバリ対応と、法的保留、印刷、転送、保存、編集、エクスポートなどの規制タスクを実行できます。

コンプライアンスと管理：OpenText™ GroupWise、Gmail、Exchange、Office 365 には、組織をデータ損失とコンプライアンス違反のリスクから守るために必要な機能が欠けています。これらのシステムの標準のアーカイブ機能は、企業での利用においては十分とはいえません。Retain は、この問題を解決します。

お問い合わせ



自動ページの無効化、SmartPurge のサポート、アーカイブポリシーによる制御、PDF へのエクスポートのサポート、アーカイブされたメッセージの受信トレイへの復元、エクスポートされたメッセージの編集、メッセージの改ざん / 削除禁止といった機能が揃っています。こうした機能を通じ、データアーカイブの完全性とコンプライアンスが確保されます。

Web Access Archive Viewer：ブラウザベースの使いやすいインターフェイスと強力な検索ツールを備えているのは Retain だけです。アーカイブのアクセス、検索、e ディスカバリーを迅速に実行できます。

完全なエクスポート機能：データを PST、PDF、またはスタンドアロンのアーカイブビューア形式で簡単にエクスポートできます。エクスポートされたファイルは、すべてインデックスが付けられ検索可能で、目次が含まれるためすばやく参照できます。

編集管理：エクスポートしたデータは編集可能なため、個人情報や他の編集済み項目を記録開示請求に含めないようにすることができます。

訴訟ホールド：Retain では、将来の訴訟で証拠になる可能性のある電子メールを保護するために、アーカイブした項目にフラグを付けて、訴訟ホールドの解除まで削除などのアクションから保護できます。

監査証跡：Retain では、管理者およびアーカイブの検索権限を持つユーザー全員について、検索可能な監査証跡が作成されます。これにより、すべてのアクティビティを記録できます。

機密性の高いスマートなルールベースのタグ

付け：管理者やエンドユーザーは、カスタムタグを作成してアーカイブ内のメッセージに付けることができます。監査官、管理者、および権限を持ったユーザーは、アーカイブされたメッセージに「機密」マークを付けることができます。こうしたマークが付いたメッセージの閲覧や検索は、権限を付与されたユーザーのみが可能です。また、正規表現などの設定条件に従い、アーカイブ中のメッセージにタグや「機密」マークを付けることもできます。検索可能なこのタグにより、e ディスカバリー対応が容易になります。

設定可能な権限：アクセス制御リストを使用し、設定した役割に基づいて、ユーザーや管理者に Retain システムの機能へのアクセス権を付与します。

エンドユーザーのメールボックス管理：Retain Web Access Archive Viewer を使えば、データの検索や復元が簡単にできます。エンドユーザーは、メッセージの検索、転送、印刷、復元、アクセス、表示などの操作を、元のコンテキストのまま、管理者のサポートなしに行うことができます。

すばやく簡単に取得：Retain には、Lucene インデックスエンジンまたは大規模導入用の Retain High Performance Indexing Engine が組み込まれています。

詳細はこちら：
www.opentext.com